

1/24 朝日

変異型「死亡」率高い恐れ

英政府 WHOは断定避ける

英國政府は22日、国内で初めて確認された新型コロナウイルスの変異ウイルスについて、従来の型よりも「速く広がるだけでなく、死亡率が高い可能性がある」と発表した。「証拠は強くない」としているが、死亡率が高い可能性がある」と発表した。

健機関（WHO）の専門家は、現時点での重症度が増したことは確認されていない」としている。

英國の22日の新規感染者は4万261人で、死者は1401人。入院患者数は春のピーク時より約8割多い。背景にあるのが、すでに従来型より優勢となつた変異ウイルスだ。

英政府のバランス首席科学顧問によると、この変異ウイルスは従来のウイルス

より30～70%、感染が広がりやすい。検査で陽性になった60代男性の場合でみると、死亡率は従来は1%だったが、変異ウイルスでは1・3～1・4%となっており、他の年代層でも同様の傾向がみられるという。

バランス氏は「数値には不確実性がある」としつつ、「死亡率の増加が明らかに懸念される」と語った。入院した人だけを対象に分析すると、従来のウイ

ルスと変異ウイルスで死亡率に差はないという。背景にあるメカニズムは不明だが、変異ウイルスは「（細胞の）受容体としっかり結合し、細胞内により簡単に入り込む可能性がある」と述べた。

英国内で接種が進む米フ

アイザー製と英アストラゼ

ネカ製のワクチンは、変異ウイルスにも有効だとしている。南アフリカやブラジルで確認された別の変異ウイルスについては「ワクチンが効きにくいかもしれない特徴がある」と語った。一方、WHOの感染症専門家マリア・ファンケルクホーフェ氏は22日、英国の変異ウイルスについて、「重症度が増したとは確認されていない」と述べ、患者が増えた結果、死亡率が高くなっている可能性に言及した。同時に「もつと情報が必要だ」と強調し、断定は避けた。（ロンドン＝下司佳代子）